

# 合唱団イクトゥス

## 第8回 フレンドリーコンサート

～歌う喜び・歌える喜び～

プロローグ ♪歌はいつもそこに♯

### 1st: イクトゥスメンバーズ セレクション

知るや君 (相澤直人)  
私と小鳥と鈴と (SEIGI)  
しあわせな一日は (山下祐加)  
笑顔の魔法 (佐藤賢太郎)

### 2nd: ギターの音色とともに

Come again (John Dowland)  
Weep you no more (John Dowland)  
ギターソロ  
他

### 3rd: 現代外国合唱曲 2010年～

His Light in us (Kim Andre Arnesen)  
Gaude et Laetare (Cecilia McDowall)  
My Load has come (Will Todd)  
他

エピローグ ♪これからも続くハーモニート

声 (山下祐加) 委嘱初演

指揮：高橋英男 ピアノ：名倉扶季 ソプラノ：田村幸代  
ゲスト：岡本拓也 (ギター)

**2021年10月10日(日) 13:15 開場 14:00 開演**  
浦安音楽ホール コンサートホール (京葉線新浦安駅前)  
入場料 1,000円 (全席指定) 未就学児の入場はご遠慮ください

# 合唱団イクトゥス 第8回 フレンドリーコンサート

## ～歌う喜び 歌える喜び～

2020年5月に予定したフレンドリーコンサートは自粛期間の為に中止になりました。2020年4月以降1年半の間、練習ができず歌えない虚しさ悔しさを、2020年7月からの練習再開により歌う喜び・歌える喜びを、体験しながら準備をしてきました。このコンサートでは、イクトゥス団員お気に入りの曲、常任指揮者選曲による現代外国合唱曲、特別ゲストの新進ギタリスト岡本拓也氏の奏でるギターの音色を織り交ぜた曲と、多彩なステージをお楽しみ下さい。心の底から安らぐことのできない今日この頃、聴いてくださる皆様が笑顔になれるよう、歌に「笑顔の魔法」をこめてお贈りします。

### 合唱団イクトゥス Chorus Group Ictus

「イクトゥス」にはグレゴリオ聖歌の「第1拍」という意味があります。私たちは「時代のさきがけとなるような合唱の第一歩を記すとともに 合唱の原点も探っていきたい」という理念を掲げ、1994年に結成した混声合唱団です。合唱の原点となる古い作品を大切にしながら、現代作品にも積極的に取り組んでいます。

#### 【常任指揮者】高橋 英男 *Hideo Takahashi*

明治大学文学部卒業。学生時代、明治大学混声合唱団に所属。指揮を松井真之氏に、声楽を高田作造氏に学ぶ。また、伊藤博氏から音楽全般について学んだ。「唄う会」に参加し、田中信昭氏の下で合唱の奥深さに魅せられた。公立学校教諭時代は、千葉市立花園中学校合唱部をTBS こども音楽コンクール「東日本優秀演奏発表会」、NHK全国学校音楽コンクール千葉県大会「銀賞」などに導く。合唱団イクトゥスでは、東京ヴォーカルアンサンブルコンテスト(TVETC)や千葉県合唱アンサンブルコンテストで「金賞」に導く等、清新なレパートリーで上質なサウンドを創り上げる合唱指揮者として、その手腕は注目を集めている。

#### 【ソプラノソロ】田村 幸代 *Sachiyo Tamura*

神奈川県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻(独唱)修了。声楽を大島洋子、千葉道代、篠崎義昭の各氏に師事。ルネサンス及びバロック音楽演奏法を花井哲郎氏に師事。これまでにモーツァルト《戴冠ミサ》《レクイエム》、シューベルト《ト長調ミサ》、ベートーヴェン《第九》、フォーレ《レクイエム》、プーランク《スターバト・マーテル》《グローリア・ミサ》など数多くの宗教作品や合唱作品のソリストを務める。大学院在籍時には1950年代以降の日本歌曲を中心に研鑽を積み、現在でも若手の作曲家の新作初演など意欲的な活動を続けている。アンサンブル活動にも積極的に取り組み、「ヴォーカルアンサンブル 歌譜喜」や「古楽アンサンブル コントラポント」、「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」など、プロのアンサンブルグループに所属しながら関東各地の合唱団でヴォイストレーナーも務めている。

#### 【ピアニスト】名倉 扶季 *Fuki Nagura*

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノを金子恵、菊地原麻理子、故・野口嘉彦の各氏に師事。現在、千葉県東葛飾地区のアマチュア合唱団を中心に10余りの合唱団の専属ピアニストを務め、地域の合唱祭、コンクール、国内・海外演奏旅行、レコーディングなど合唱団とともに様々な演奏活動をしている。声楽及び器楽奏者との共演も多く、リサイタル、慰問コンサートなど積極的に活動している。また、自らも女声合唱団に所属し、声を重ね音楽を表現する経験を重ねている。

#### 【ギタリスト】岡本 拓也 *Takuya Okamoto*

千葉県浦安市出身。10歳よりギターを始め故平塚康史、篠原正志、ウィーン国立音楽大学にてアルバロ・ピエリ各氏に師事。2018年11月、同大学院修士課程を満場一致の最優秀成績で修了。歴史的演奏法をインゴマー・ライナー、リュート演奏法をルチアーノ・コンティニ各氏のもとで学ぶ。2009年 GLC 全国学生ギターコンクール、ジュニアギターコンクール、クラシカルギターコンクール全てに於いて最優秀賞受賞。2010年 ヤマハ音楽奨励学生、第9回千葉県芸術文化新人賞受賞。日本テレビ「世界まる見え!テレビ特捜部」などにも出演。東京国際ギターコンクール第2位。またニューフィルハーモニーオーケストラ千葉との「アランフェス協奏曲」共演にてソリストを務めている。2011年 NHK「首都圏ネットワーク・きらりこの人」などに出演。2016年アルトハイム国際ギターコンクール第1位(オーストリア)、ルスト国際ギターコンクール第2位(オーストリア)2017年ノルトホルン国際ギターコンクール第2位(ドイツ)、クトナーホラ国際ギターコンクール第2位(チェコ)、ブルーノ国際ギターコンクール第2位(チェコ)2018年 浜松市文化振興財団主催のアクト・ニューアーティストシリーズに出演。今日世界最高峰レベルのアルハンブラ国際ギターコンクール(スペイン)にて邦人初のファイナリスト入りを果たし、第2位を受賞。2019年1月にはファーストアルバム「7つの指輪~Sete Aneis~」をリリースし、レコード芸術特選盤に選定される。これまでにウィーン・フォーラム国際ギターフェスティバルをはじめ、オーストリア、ハンガリー、ルーマニアやセルビアの国際ギターフェスティバルに招待されマスタークラスやリサイタルを行う。ソロや室内楽の他、2015年結成したギター四重奏「タレガ・ギターカルテット」(松田弦・朴葵姫・徳永真一郎・岡本拓也)の一員としても活動範囲を日本全国に広げつつある。



### 【お問い合わせ】

<E-mail>[guest-ictus@ictus-chorus.com](mailto:guest-ictus@ictus-chorus.com)

チケットお申し込みもこちらから

メールはこちらからもどうぞ →

<Twitter>@ictuschorus

<Website> <http://www.ictus-chorus.com>

